

平成28年度

東大和市災害ボランティアセンター設置・運営訓練

南街・桜が丘地域防災協議会本部

平成29年03月13日

平成29年03月13日に東大和市社会福祉協議会被災の第三回災害ボランティアセンター設置・運営訓練がハミングホールを中心として市内被災者想定8か所で実施致しました。今回の訓練には運営スタッフ；30名、被災者役；7名、市民ボランティア；70名（市役所；市民生活課／防災安全課、武蔵村山市／文京区の社会福祉協議会、高齢者ホット支援センター南街からも運営スタッフとしての参加があり）により、下記の主旨に基づき所定の成果を上げる事が出来ました。

開催日：平成29年3月13日（月）

会 場：ハミングホール 市内各所

訓練実施目的

当会は東大和市との協定に基づき、災害ボランティアセンターを中心的に設置・運営する役割が求められている。昨年度は設置・運営マニュアルを策定し、ハミングホールを使用しての訓練を実施することで、対策を推進した。

本年度は前年度の反省をふまえ、より効果的かつ実践的な訓練を実施する。またより幅広い世代の参加と市役所等関係機関の参加を推進し連携を強化する。

被害想定

【被害の概要】 ※市防災計画をもとに想定

項 目	内 容
震源・震度	多摩直下 最大震度6強
発生日時	平成29年3月7日（火）午前5時00分
人的被害	死亡：59人（内要援護者27人）、負傷765人、
建物被害	全壊：774棟
火災被害	出火：3件、焼失：403棟（消火作業終了）
避難者	避難者（1日後）16,689人、
ライフライン	停電率9.0%、通信不通率2.3%

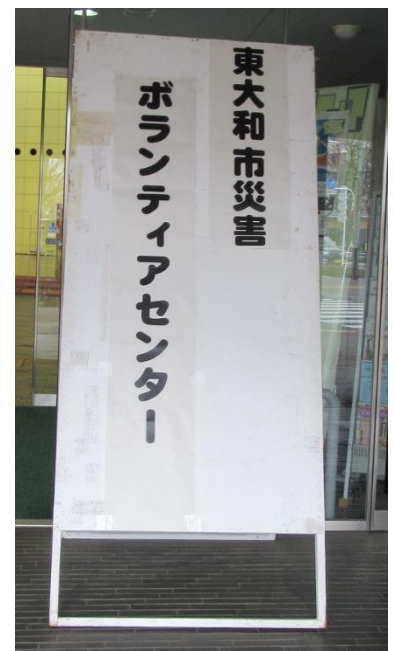
訓練時間配分

【午前の部】

- 9：00 スタッフ役受付開始
- 9：30 災害ボランティアセンター説明・設置準備
- 10：00 相談電話受付開始
- 10：30 被災者宅の訪問と調査、書類作成
- 12：00 ～お昼休憩～

【午後の部】

- 13：00 ボランティア役受付開始
- 13：30 災害ボランティアセンター説明
オリエンテーション・マッチング・送り出し
- 14：00 市内各所へ移動しボランティア体験
- 15：00 活動終了、セハミングホールへ再集合
- 15：30 全体反省・講評（被災者役も集合）
- 16：30 閉会



- 参 加
- 1) 東大和市青年会議所
 - 2) 南街・桜が丘地域防災協議会（スタッフ役、ボラ役、市民役）
 - 3) 東大和障害福祉ネットワーク（被災者役として）
 - 4) 東大和市市民生活課
 - 5) ハミングホール
 - 6) 民生委員・児童委員
 - 7) 高齢者ほっと支援センター
 - 8) 東大和市社会福祉協議会理事・評議員
 - 9) " 職員
 - 10) 市内自治会（毎年拡大を予定。今年は湖畔と向原）
 - 湖畔地区4自治会
 - 現在協議会に参加いただいている流れで参加を呼びかけ
 - 向原地区自治会（数カ所）
 - 11) 都内で災害支援を行なうNPO等の機関

【個人宅バージョン】※29年度

	会場	担当	内容
①	南街二協和三自治会集会所	たんぼぼ 原	高齢女性、片付け、足湯、本人から相談 【用意】自宅内をちらかして被災を再現 【物品】一輪車1、スコップ1、土のう2、 瓦適量、足湯のセット、その他表示物適宜
②	向原よつわ自治会集会所	三浦自治会長 崎 田中海	高齢女性、片付け、足湯、自治会から相談 【用意】自宅内をちらかして被災を再現 【物品】一輪車1、スコップ1、土のう2、 瓦適量、足湯のセット、その他表示物適宜
③	社協会議室	佐藤	認知症高齢女性、片付け、足湯、自治会相談 【用意】自宅内をちらかして被災を再現 【物品】一輪車1、スコップ1、土のう2、 足湯のセット、その他表示物適宜
④	個人宅	宮原 関田	肢体不自由者、自宅片付け、外出支援等 【用意】自宅内をちらかして被災を再現 【物品】一輪車1、スコップ1、土のう2、 瓦適量、足湯のセット、その他表示物適宜
⑤	個人宅	細田 高木	聴覚障害者、自宅片付け、足湯、情報提供等 【用意】自宅内をちらかして被災を再現 【物品】一輪車1、スコップ1、土のう2、 瓦適量、足湯のセット、その他表示物適宜

【避難所支援バージョン】

	会場	担当	内容
⑥	向原中央集会所	伊藤 木下 (浅見)	避難所支援（ほっとタオル、足湯） 【用意】避難所を再現。敷物等 【物品】避難所支援講習紙芝居、タオル、湯、 足湯セット、カーペット等
⑦	向原市民センター 集会室3	齋藤 高野 齋藤典	避難所支援（毛布ガウン、リラクゼーション） 【用意】避難所を再現。敷物等 【物品】避難所支援講習紙芝居、タオル、毛布 足湯セット、カーペット等



防災関連資料の掲示



スタッフへの災害ボランティアセンター設置訓練の内容説明状況





全体概要(手順)説明



各班への個別説明



被災者からのニーズ受付電話対応開始



小ホールの全体オリエンテーション室準備





用意した各種機材類



スタッフの被災者宅への訪問



被災者からのニーズ確認状況



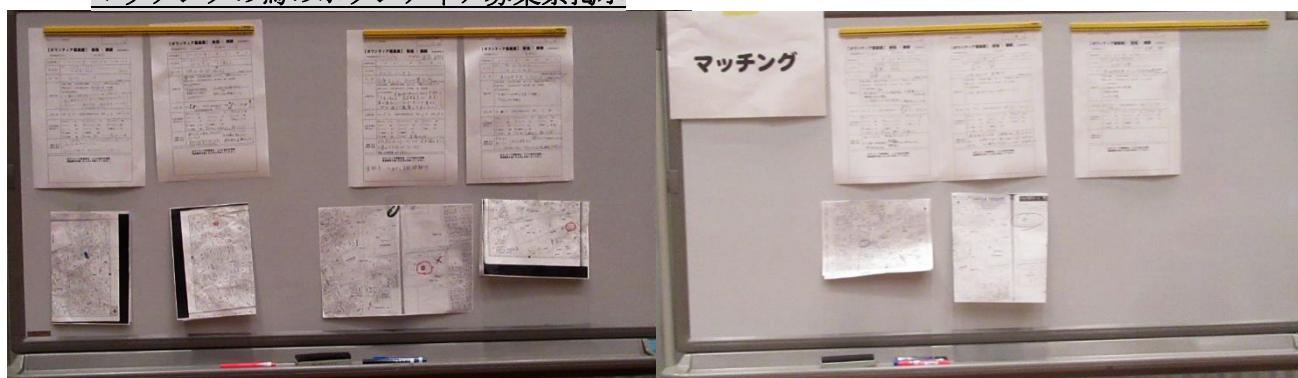
...ボランティア募集票の作成



ボランティアセンター訓練開始のスタッフへの指示



マッチングの為にボランティア募集票掲示



ボランティア受付／登録開始



ボランティアへのオリエンテーション

中澤様ご挨拶



東大和市災害ボランティアセンター
設置・運営訓練

東大和市社会福祉協議会



参加ボランティアの皆様集合



スタッフの皆様



浅見様によるプロジェクターを使用した
オリエンテーション



災害ボランティアセンターとは？

1. つなぐ

地震などで被災し、助けを必要とする人と、ボランティアとして被災地の支援をしたい人をつなぐ機関です

2. 災害時に

災害発生時に臨時的に設置されます。

3. 被災者支援

被災地域が少しでも早く元の生活に戻るため、災害による「困りごと」にボランティアとともに対応します。

それでは・・・

体験スタート！



ボランティア先の選択作業





被災者へのボランティア作業状況



被災者へのボランティア作業状況



ボランティア終了後の各チーム毎の反省会



参加者全員での全体反省会／講評





ボランティア各班代表の発表



被災者役の感想発表



防災安全課からの総評



主催 東大和市災害ボランティアセンター協議会

体験してみませんか？ 災害時のボランティア

～平成28年度東大和市災害ボランティアセンター設置・運営訓練～

災害時、復興にはボランティアの力が欠かせません。ボランティアを「必要とする人」と「したい人」をつなぐ場所、それが災害ボランティアセンターです。



助けられる人から助ける人へ！

災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を行います。災害時にどのようなボランティア活動ができるのか、体験してみませんか？

3月13日（月）午後1時30分より
（受付午後1時より）

会場 ハミングホール

定員
70名

エントランス、小ホール等（東大和市向原6-1）



【お願い】

- ◆動きやすい服装でご参加ください。飲み物は各自ご用意をお願いします。
- ◆ハミングホールからボランティア活動先（市内各所）には自転車又は徒歩での移動となります。

申込み・問合せ：東大和ボランティア・市民活動センター
（東大和市社会福祉協議会内）
☎564-0035 fax564-3680
3月8日（水）までにお申し込みください。



HPはこちらから！

保存版(市民の皆さまへ大切なお知らせです)

災害時の支え合い

東やまと災害ボランティアセンター

災害時に臨時で設置されます



災害ボランティアセンターとは？

地震などで被災し、手助けを必要とする人と、ボランティアとして被災地の支援をしたい人をつなぐ機関で、災害時に臨時的に設置されます。被災地域が少しでも早く元の生活に戻るため、市民の皆さまの災害による「困りごと」にボランティアとともに対応します。

東大和市災害ボランティアセンター協議会・東大和市社会福祉協議会

② 災害ボランティアセンター、これだけは知っておいて

1 災害時、設置されます。

大きな災害の時、ハミングホールに設置されます。

2 活用してください

市民の皆さまの「復興」をお手伝いします。まずはご相談ください。

3 紹介してください

周りの人に災害ボランティアセンターのことを教えてください。
災害でお困りの方を紹介してください。

4 応援してください

災害時は東大和のボランティアの力も欠かせません!もし可能な
状況であれば、ボランティアとしてセンターを応援してください!

情報が
大切!

災害時におけるボランティアセンターの情報発信は、市民向けにはチラシや口コミが、ボランティア活動者にはWebが中心です。市民の皆さまは避難所や自治会などを通じて、ボランティアはパソコンやスマホを活用し、正確な情報を把握してください。

【ご相談・お問い合わせ】

東大和ボランティア・

市民活動センター

東大和市中央3-912-3

☎042-564-0035

(災害ボランティアセンターもこの番号です。)

HP

東大和災害ボラセン

Q 検索

で検索

【設置場所】

ハミングホール 東大和市向原6-1



東大和市災害ボランティアセンター 設置・運営マニュアル

28. 8. 3



東大和市社会福祉協議会